

グアテマラ経済（2012年6月）

平成24年7月
在グアテマラ日本国大使館

『6月の主な動き』

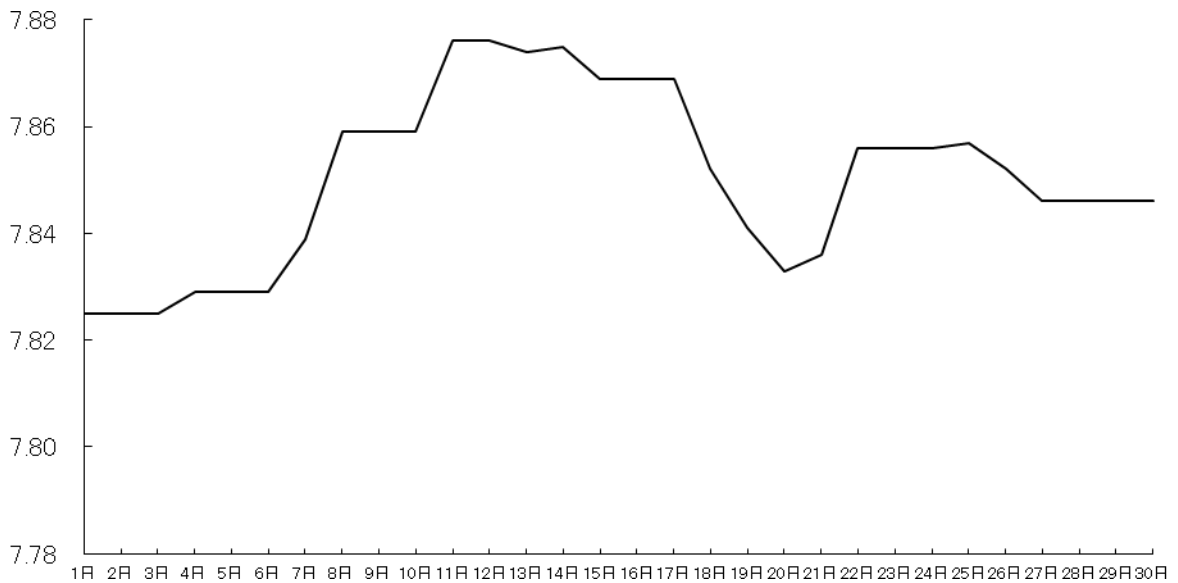
- 6月、対米ドル・ケツアル為替は1ドル=7.825～7.876の範囲で推移した。
- 6月、消費者物価指数は対前月比0.12%、対前年同月比3.47%上昇した。
- 6月、外国からの送金額は前月に比べ減少したが、対前年同月比3.91%増となった。
- 12日、センテーノ財務大臣に対する国会喚問が終了した。
- 29日、中米EU連携協定への署名が行われた。

1. 主な経済指標

（1）為替レート（中銀）

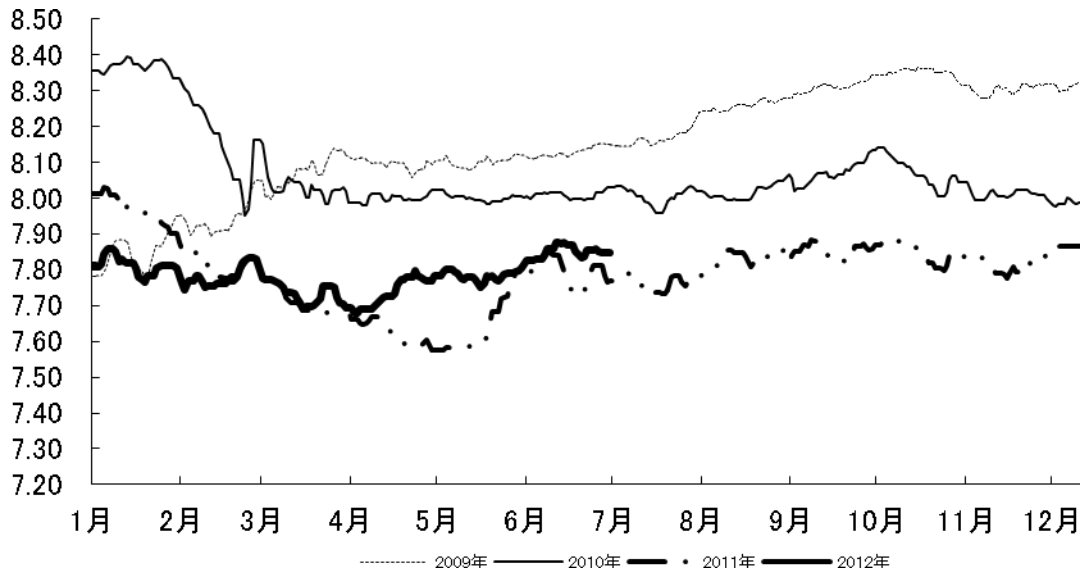
6月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1ドル=7.825～7.876の範囲で推移した。6月30日時点の為替レートは同月初頭に比べ0.0213ケツアル安ドル高の1ドル=7.8461ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2012年6月



（出典：グアテマラ中央銀行）

ケツアル対ドル相場の推移：2009年-2012年

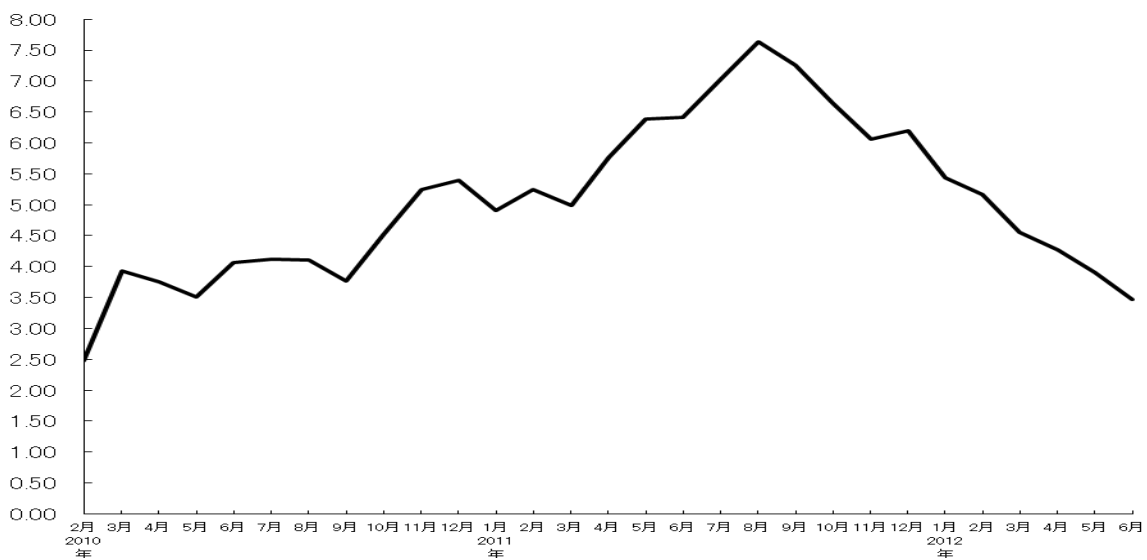


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数（国立統計院）

6月、消費者物価指数は対前月比 0.12%、対前年同月比 3.47%上昇した。

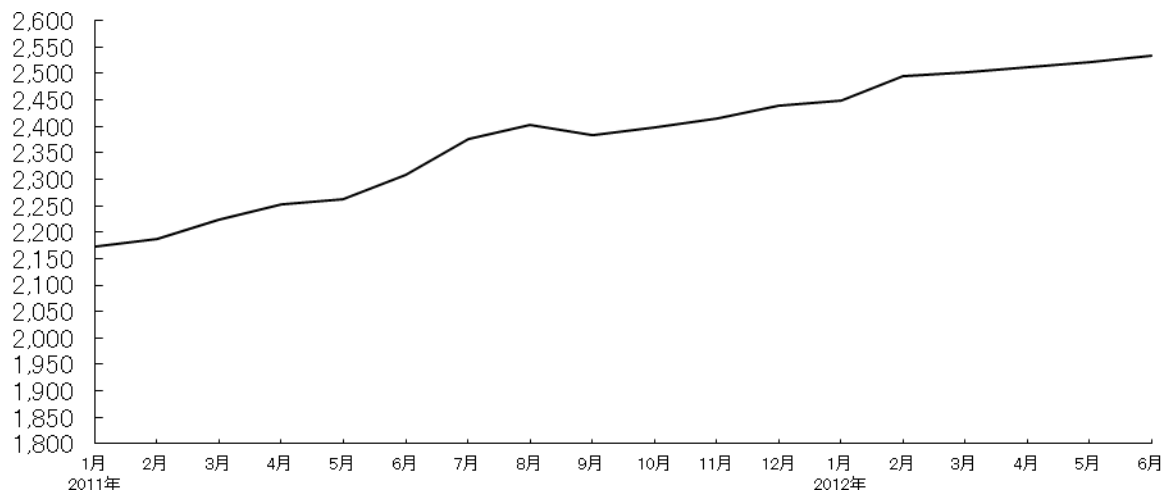
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2010-2012年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1 世帯 5.38 人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26 品目）価格は、前月比 12.00 ケツアル増の 2,534.10 ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2011-2012 年
(単位：ケツアル)



(出典：国立統計院)

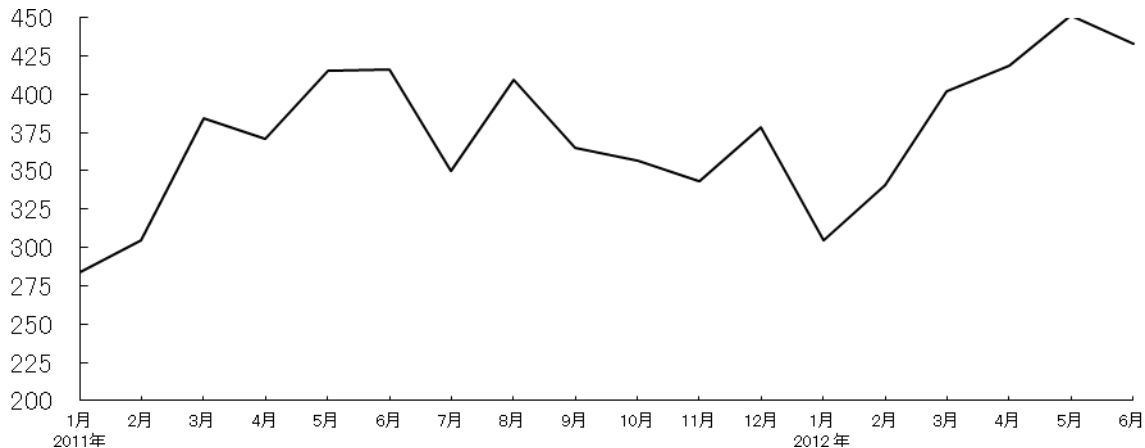
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比 21.90 ケツアル増の 4,624.27 ケツアル/月となった。

（３）外国からの送金（中銀）

６月、外国からの送金額は前月に比べ減少したが、前年同月比 3.91%増の 4 億 3,267 万ドルとなった。

外国からの送金額：2011-2012 年

（単位：百万米ドル）



（出典：グアテマラ中央銀行）

2. 国内経済トピックス

（１）センテーノ財務大臣に対する国会喚問の終了

（ア）１１日、野党 LIDER は与野党議員団長会議において「不正蓄財取締法（ley contra el enriquecimiento ilícito）」を１２日の臨時国会本会議における唯一の議題として緊急承認（当館注）することを条件に、センテーノ大臣に対する国会喚問を取り止めることを約束したが、その後、与党及びその他の野党議員団長は他の案件も議題に追加することを決定。１２日、ビジャテ LIDER 議員団長は、本会議前の記者会見において、同党の要求が受け入れられないのであれば、本件国会喚問を継続する旨発表した。

（イ）１２日、リベラ国会議長は第２回臨時国会本会議において、センテーノ財務大臣の喚問について、予定されていた LIDER 議員１７名の発言を１分以内に制限する旨提案。その後、右提案は投票に付され、賛成 105 票を以て可決された。本喚問に関する発言時間が制限された後、LIDER 議員から発言が行われなかったため、リベラ国会議長は本件喚問の終了を宣言。右を以て本年２月１６日から行われたセンテーノ財務大臣に対する国会喚問は終了した。

（２）本年の当国における税収見通し

（ア）グティエレス当国国税庁（SAT）長官は、本年の当国の税収に関し、42,950 百万ケ

ツアルと見込んでおり、政府が当初打ち出した見通し（43,611.1 百万ケツアル）には達しない可能性が高いと発表した。グティエレス長官は、当初の見通しよりも低い税収となる要因として、主にヨーロッパ、ブラジル及び発展途上国における景気後退による影響を指摘した。また、同長官は本年の当国の経済成長率に関し、中銀は 2.9～3.3%程度と予測しているのに対し、SAT としては 2.4～2.8%に留まるとの見解を発表した。

（イ）センテーノ財務大臣は、当国経済が未だ上向く可能性がある中、グティエレス長官の今回の発表は右傾向を損ねるものであると指摘し、SAT の見通しには同意しかねる旨述べた。

（３）政策金利の引き下げ

金融審議会（中銀、財務・経済大臣及び民間銀行の代表から成る）は、政策金利を昨年 9 月末から維持してきた 5.5%から 5.0%に引き下げることを決定した。今回の引き下げは、当国の現在のマクロ経済的な要因を踏まえ決定されたものであり、インフレが抑制される中、投資拡大に伴う生産性の回復には民間銀行による貸付利子率の引き下げが必要との判断により決定された。

（４）本年 1－5 月の民間銀行による融資

当國中銀は、本年 1－5 月の民間銀行による融資総額が対前年比同期比 17.4%増の 119,605.5 百万ドルに上ったと発表した。当国の経済アナリストの間では、右融資額の増加は当国経済が僅かに成長していることを示すものであると見られている。

（５）国際機関による 2012 年の当国経済成長率の見通し

（ア）12 日、世銀は 2012 年の経済成長見通しに関する報告書を発表した。同報告書において、本年の当国の成長率は 3.6%と予測されており、EU の経済危機及び米国経済の景気後退による影響が懸念されるものの、国内の民間消費及び主な輸出品に対する国外需要が当国経済を支える可能性があることを指摘している。

（イ）14 日、CEPAL は 2012 年 6 月のラテンアメリカ・カリブ諸国におけるマクロ経済に関する報告書を発表した。同報告書によると、本年の当国の経済成長率は 3.5%と見込まれており、昨年（3.9%）より低い見通しの要因として、当国が EU 諸国などに輸出している原料の価格の下落を挙げている。

（６）当国の債務残高

センテーノ財務大臣は、本年 4 月末までの当国の債務残高は 90,487.56 百万ケツアルで、その中、対外債務は 47,461 百万ケツアル、国内債務は 43,026.36 百万ケツアルであると発表した。

3. 対外経済トピックス

(1) 本年1月－4月の当国輸出総額の減少

当國中銀は、同銀行 web サイトで発表した対外貿易報告書において、EU 経済危機の影響と第一次産品の価格下落が相俟って、本年1月－4月の当国の輸出総額が対前年（3,654.3 百万ドル）同期比1.7%減の3,591.9 百万ドルであった旨発表した。なお、輸入総額は5,445.4 5 百万ドルで対前年同期比3.7%増。対 EU 諸国輸出（10.5%減の総額 249.2 百万ドル）の中でも各国別で見ると、対スペイン（49.3%減）、対イタリア（25.8%減）、対ベルギー（15.8%減）及び対ドイツ（8.4%減）輸出が最も顕著な減少を見せた。また、対日輸出も減少し、対前年同期比33.3%減の76.9 百万ドルに留まった。他方、対米国（1,432 百万ドルで対前年同期比0.6%増）、対中米域内（927.3 百万ドルで5.4%増）、対メキシコ（146.9 百万ドルで28.2%増）輸出は増加した。また、品目別では、国際的な第一次産品の価格の下落に伴い、コーヒーの輸出額が480.9 百万ドルで対前年同期比14.9%減、衣類が12.8%減、貴金属（金・銀）が16%減、ゴムが20.4%減、石油が8.7%減、カルダモンが34.2%減となった。

(2) 本年5月の外国からの海外送金

本年5月の外国からの海外送金が過去の月額送金総額において、最も高い水準（451.5 百万ドル、対前年同月比8.7%増）を記録した。本年の当国における外国からの海外送金は、対前年（43.7 億ドル）比7%増の約47 億ドルと見込まれている。バルキン中銀総裁は、本年5月の当国への海外送金が増加した理由として、在米グアテマラ人の雇用改善の可能性を指摘しつつも、EU の景気後退の波及により、米国における失業率が高水準に留まる場合、2008年～2010年にかけて見られたような、送金の低迷が起こる旨述べた。

(3) 当国におけるEU経済危機の影響

7日、バルキン中銀総裁は、プレンス・リブレ紙 Web サイト番組「自由討論(Dialogo Libre)」(www.prensalibre.com)において、EU 経済危機の当国における影響につき述べた。同総裁によれば、当国は、EU 地域に経済的に依存しておらず、対 EU 地域との貿易額は当国の貿易総額の僅か6%を占めるに留まり、主な輸出品は食料品である。また、同総裁は EU 経済危機の影響が当国に及ぶとすれば、経済的に依存している米国（当国の輸出総額の42%、当国への海外送金の約99%を占める。また、当国の観光及び製造部門への貸付を提供するクレジット・ラインを有する）を通してその影響が現れることになる。EU 経済危機の当国への影響は、米国の動向如何にかかっていると述べた。

(4) 韓国ソレンシス社の当地プラント建設

Apple、BlackBerry、Samsung、Phone Google 及び LG 等のパネルをデザインする（iPad 及び携帯等のタッチパネルを製造）韓国ソレンシス（Sollensys）社が本年、当地にプラント（Sollen グアテマラ）を建設する予定であると発表した。同社は、当地プラント建設に関し、未だ正式に建設予定地を決定していない（ミスコ市あるいは空港付近にの可能性もあ

る）が、プラントの規模としては 1.5 マンサナ（1.05 ヘクタール）～2 マンサナ（1.4 ヘクタール）程度になる予定であり、今後、80～100 名のグアテマラ人技術者との契約を予定している。ソレンシス社によれば、タッチパネル市場は世界で年間 14%拡大しており、当地プラントでは月額 50 万台（約 5 百万ドル相当の輸出）の生産が見込まれている。ヤン・ジン・オー（Young Jin Oh）ソレンシス社役員は、当地プラント建設にかかる費用は 15 百万ドル～20 百万ドルを予定しており、右プラントが完成すれば、同社にとって韓国及び中国に次ぐ 3 番目の海外プラントとなる旨、また、当地プラントでは米州向けの製品は全て当地で生産されることになる旨述べた。さらに、ジン役員は、他の海外プラントではワンサイズのパネルの生産に特化しているのに対し、当地では 3 インチ～10.1 インチまで様々なサイズのパネルが生産される予定である旨述べた。

（５）中米 EU 連携協定への署名

29 日、ホンジュラスで開催された第 39 回 SICA 首脳会合の機会を利用し、チンチージャ・コスタリカ大統領、フネス・エルサルバドル大統領、ペレス・モリーナ・グアテマラ大統領、オルテガ・ニカラグア大統領、マルティネリ・パナマ大統領及びロボ・ホンジュラス大統領の立ち会いの下、中米各国外相及び経済相により中米 EU 連携協定が署名された。なお、本件署名に伴い、（これまではオブザーバーであった）パナマが SIECA に正式加盟した。

（了）